

令和2年2月

# 袋井市議会定例会

## 一般質問通告内容

※ 傍聴のお知らせ ※

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、極力傍聴を控えていただき、インターネット中継をご覧ください。

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。  
Yahoo! や Google などの検索画面から  
[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ  
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

# 袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
3/3(火) 午前	1	伊藤 謙一	一問一答	3
	2	高橋 美博	一問一答	5
	3	岡本 幹男	一括	7
3/3(火) 午後	4	寺田 守	一括	9
	5	村井 勝彦	一問一答	11
	6	鈴木 弘睦	一括	13
3/4(水) 午前	7	近藤 正美	一括	14
	8	竹野 昇	一問一答	15
	9	佐野 武次	一括	17
3/4(水) 午後	10	浅田 二郎	一問一答	18
	11	木下 正	一問一答	19
	12	戸塚 哲夫	一括	20
3/5(木) 午前	13	森杉 典子	一括	21
	14	山田 貴子	一括	22

質問順序	1	議席番号	1 2	質問者	伊藤 謙一	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	<b>新型コロナウイルス対策に関して</b> <p>現在進行形で、新型コロナウイルスに対して日々目まぐるしく報道がされている。感染に対する危機管理はもとより、経済・観光・産業のさまざまな面への影響が心配されるが、改めて本市の状況と本件への対応を伺います。</p> <p>(1) 市庁舎内および職員間の感染症対策は万全か。また、マスクや消毒液等の備品はどの程度あるか。</p> <p>(2) 仮に市内にて感染者が発見された場合の対処や、初動は明確になっているか。</p> <p>(3) 昨年末から現在において、新型コロナウイルスを発端とし市内において経済・産業・観光面に関して被害状況を把握しているか。また、事態の状況により経済的な支援等が必要ではないか。</p> <p>(4) 現在、国内にて大規模なイベントに関し、開催自粛または延期となるケースが多くなっている。本市においても、今後の状況次第で開催自粛を促す取り組みが必要だと感じるがどうか。</p> <p>(5) 厚生労働省は、HPにて新型コロナウイルスのまん延を防ぐため、感染の疑いのある方が、病気休暇制度を活用し、仕事を休むことを促している。しかし、同じく厚生労働省の調べでは、同制度の普及は、全企業の25%と大変低い。市内において病気休暇制度を設ける企業の割合と、今後、普及を促す考えはあるか。</p> <p>(6) 新型コロナウイルスとともに、アメリカ合衆国ではインフルエンザの被害も大変大きい。以前から、緑茶による感染症予防効果がうたわれている。県や国とともに緑茶による感染症予防を周知していく考えはないか。</p>				市長	
2	<b>企業誘致に関して</b> <p>直近では、豊沢への企業誘致等、本市の企業誘致施策は、結果を出していると感じている。しかし、継続した企業誘致および立地に対する取り組みは、本市が今後も持続していくためには、必要不可欠と感ずることから、以下をお伺いします。</p> <p>(1) 市内における企業誘致活動の近況は。</p>				市長	

質問順序	1	議席番号	12	質問者	伊藤 謙一	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
2	<p>(2) 現在、小笠山山麓開発および土橋地内への企業の移転計画が示されているが、新たな企業用地に関して検討するべきと感じるがどうか。また、併せて新たな企業用地の確保は、東名および新東名のダブルネットワークを最大限活かすべきではないか。</p> <p>(3) トヨタ自動車は、人々の暮らしを支えるあらゆるモノやサービスがつながる実証都市「コネクティッド・シティ」のプロジェクト概要を発表した。2020年末に閉鎖予定のトヨタ自動車東日本(株)東富士工場（静岡県裾野市）の跡地を利用して、将来的に約70.8万平方メートルの範囲において街づくりを進めるべく、2021年初頭に着工する予定とし、トヨタ自動車では今後、さまざまなパートナー企業や研究者と連携しながら、新たな街を作り上げていくことを明らかにした。近年、自治体がスマート自治体やコンパクトシティ、そして、スマートシティ構想を掲げる中、民間による開発も徐々にではあるが実例が出ている。今後、民間によるスマートシティ開発の台頭を、本市はメリット・デメリットの両面でどのように考えるか。また、誘致に関しても研究をすべきではないか。</p> <p>(4) 先日、市議会で行った高校生との意見交換会では、将来この街に住むことへの条件のひとつに、多様な働き方ができること、また、働きたい業種があることというご意見をいただいた。「働き方」という観点から、市の企業誘致の活動に関しても、今後さまざまな業種を積極的に誘致すべきと感じるがどうか。</p>				市長	

質問順序	2	議席番号	15	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p><b>市民生活への支援・負担増について</b></p> <p>安倍内閣による消費税10%への増税が日本経済に大打撃となっている。市民生活の支援策、市民負担増計画について市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 安倍政権が強行した昨年10月からの消費税率10%への増税が、家計も経済も直撃し、加えて米中の激しい貿易対立、台風被害、暖冬などの影響、さらに新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大が観光業に打撃を与え、企業のサプライチェーンにも影響がおよび、来期もマイナス成長の可能性が高く、不況の長期化が予測される。一番身近な行政である市が、市民の生活を支援する手立てを実施すべきと考える。市長は、今の日本の経済状況、それによる市民生活への影響をどう捉えているのか。</p> <p>(2) 市は、家庭ごみの有料化、水道料金・下水道使用料・介護保険料・国民健康保険税の引き上げの実施に向け検討をすすめている。市長は、こうした市民への負担増を今後どのように説明し、理解を求めるのか。</p>				市長
2	<p><b>中東遠総合医療センターの利便性の向上について</b></p> <p>中東遠総合医療センターへの袋井市民の受診が減り続けている。市長の責任を問うとともに対策について伺う。</p> <p>(1) 医療センターへの救急搬送時間短縮や病院利用者の利便性向上のため、掛川市に小笠パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置を働きかけるべきではないか。</p> <p>(2) 医療センターへのアクセスとなる市道掛之上祢宜弥線、鷲巣川西交差点から市道東同笠油山線との交差点までの市道太郎平新道国本線道路整備は一向に進んでいない。早期に完成すべきではないか。</p> <p>(3) 昨年4月から医療センターへの公共交通アクセスが、自主運行バスからデマンドタクシーに変更された。市民の利用に変化はあったか。</p>				市長
3	<p><b>「地域とともにある学校づくり」補助金廃止について</b></p> <p>補助金見直しにより、「地域とともにある学校づくり推進事業費補助金」が廃止となった。「一校一特運動」「元気な学校づくり」と続いてきた袋井市が育ててきた各学校の独自性を重視した事業を推進する補助金の廃止は問題があると考えます。廃止の理由と、今後の学校運営についての考え方を伺う。</p>				教育長

質問順序	2	議席番号	15	質問者	高橋 美博	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
3	<p>(1) 「一校一特運動」「元気な学校づくり事業」「地域とともにある学校づくり事業」と30年続いてきた補助事業と、それによって作り上げてきた各学校の取り組みをどのように評価・総括しているのか。</p> <p>(2) 幼小中一貫教育実施と4つの学園の運営、英語教育の重視、タブレット導入による情報教育へのシフトなど新たな教育課題が山積する中で、これまで同様に各学校独自の取り組みが継続できるのか。</p> <p>(3) 補助金廃止により、各学校の事業実施に支障はないのか。</p>				教育長	

質問順序	3	議席番号	13	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>河川整備について</b> 台風19号による降雨災害の深刻さは、全国規模および袋井市内において再認識されるところとなった。そこで、袋井市南部の河川整備について次の3点を伺う。  (1) 三沢川の河道掘削について静岡県と連携を取った対策がなされているか。現在、奥三沢橋下流において県が護岸工事を施工中であるが、地区住民によれば中屋敷橋上流部やその下流の栄橋周辺の堆積土による洪水が懸念されている。袋井土木事務所と袋井市が連携し、地区住民の現地での意見を聞く機会を設けるなどの対策はできないか。  (2) 弁財天川の内水対策について伺う。弁財天川は、アクアパーク周辺が一番低くなっており、大規模降雨時には新堀排水路への逆流も起こっている。現在、袋井市の施設としてメロープラザ東側と諸井里山公園に遊水池が設置されているが、静岡県と連携した遊水池の整備は十分か。  (3) 前川は、東は弁財天川河口に西は福田港に繋がっており、遠州灘の潮位の影響を強く受けている。大野地区東側の静岡県の管理する前川と袋井市の管理する前川排水路の合流部には土砂の堆積も見られるが、静岡県と連携した台風など大規模降雨時の流下対策は十分か。				市長
<b>2</b>	<b>地域防火体制について</b> 袋井市の消防活動については、常備消防のほか、消防団による消火活動、地域住民による初期消火も大きな役割を担っている。そこで、地域防火体制について以下の3点を伺う。  (1) 消防法の規定によって袋井市に求められている消火栓、防火水槽を合わせた消防水利の数は基準を満たしているか。基準以下であれば、基準値以下の小規模な消火栓、防火水槽を含め今後の整備方針について伺う。  (2) 消火栓、防火水槽の所在の位置情報は地域にいかに周知されているか。また、消火栓に付設された20メートルホース2本で地域全体がカバーされているかを検証する必要があると考えるが実態はどうか。				市長

質問順序	3	議席番号	13	質問者	岡本 幹男	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
2	<p>(3) 袋井市内の消防団は、約半数が分団ごとの基準人員である40名を満たしていない現状にあると聞く。消防団活動は本来の消火活動のみならず、大規模災害時や地域防災活動に不可欠の存在であり、自治会等と連携した団員確保策が必要である。袋井市は消防団員確保についてどのような支援策を行っているか。</p>				市長	
3	<p><b>高齢者支援について</b></p> <p>高齢者は特殊詐欺などの犯罪対象、ひとり暮らしや寝たきりなどの生活基盤の脆弱さ、生活の必要とする自動車運転等さまざまなリスクに囲まれている。そこで、高齢者の生活上のリスク回避に役立つ、機器貸与や機器購入についての支援策について次の3点を伺う。</p> <p>(1) 特殊詐欺被害防止のための迷惑電話対策機器のモニター制度の利用状況は十分か。被害の防止のためには、この制度の更なる周知および利用と、録音装置設置補助など他の特殊詐欺防止機器の設置補助の検討も必要ではないか。</p> <p>(2) 在宅でひとり暮らしの高齢者や寝たきりの高齢者と同居する高齢者のみの世帯に対し緊急通報システム機器の貸与の制度は十分な利用がされているか。また、センサーや電球による感知で自動的に離れた家族に通知される機器もあるが設置補助等は検討できないか。</p> <p>(3) 自動車事故防止についてどのような支援策を実施しているか。磐田市では2月定例会に、自動車のペダルの踏み間違い事故を減らすため、65歳以上の高齢者が後付けの急発進抑制装置を設置する場合の購入・設置費用の補助制度を提出した。藤枝市も同様の準備を進めているとされるが、袋井市では補助制度の検討はできないか。</p>				市長	

質問順序	4	議席番号	8	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>田町排水路の整備</b> 田町排水路は田町排水区の主要な排水路になっているが、整備が完了していない。「河川等整備10箇年計画」の更新時期を迎えているが、今後の整備計画について伺う。  (1) 田町排水区管内の近年の浸水被害等の発生状況について伺う。  (2) 計画に記載されている改修は見込めない状況になっている。計画未達成の要因はどこにあるか伺う。  (3) 次期計画策定にあたり、現況の問題点と整備構想について伺う。  ア 都市計画道・村松山科線以南の水路の改修は完了しているのか。  イ 磐田用水と兼用している水路の流末、同・村松山科線手前に設けた分水工の効果はどうか。  ウ 課題としてあげている用排水分離は今後も継続していくのか。  エ 宇刈川への排水の直接放流について県と交渉する用意はあるのか。  (4) 計画で示されている300メートルの延長計画は、次期計画においても継続していくのか伺う。				市長
<b>2</b>	<b>避難施設の課題</b> 全国各地で多発する地震、津波、豪雨災害等の大規模災害に鑑み、避難施設もそれに備える機能と対策が求められている。本市の避難施設の現状と課題について伺う。  (1) 今回発表された洪水ハザードマップで想定浸水区域内に位置している避難施設があるが、見直しの必要性はないのか。  (2) 避難計画では要配慮者に対する福祉避難所の設営が求められているが、本市の取り組み状況はどうか。  ア 福祉避難所は充足しているのか。  イ 定期的な受入訓練は実施しているのか。				市長

質問順序	4	議席番号	8	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
2	<p>ウ 市民への周知はどのように行っているのか。</p> <p>(3) 水防法では浸水する恐れがある福祉施設や病院などの「要配慮者利用施設」に対し、避難計画の策定を義務付けているが、作成状況はどうか。</p> <p>(4) 1次避難所に設定されている自治会の公会堂建屋の耐震化について伺う。</p> <p>ア 建屋の耐震基準について調査はされているのか。</p> <p>イ 耐震化工事を施工する場合、工事費の助成は可能か。</p>				市長

質問順序	5	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p><b>視覚等に障がいのある市民や児童生徒の視力低下に対する取り組み</b></p> <p>視力や視野に障がいのある、あるいは、色覚等に異常のある市民について、生活に支障を来さない環境整備が求められるが、現状において、どのような取り組みがなされているか。また、児童生徒の視力低下に対する取り組みはどうか。</p> <p>(1) 色覚に異常のある市民への取り組み状況はどうか。</p> <p>ア 本市における色覚異常の実情をどのように把握されているか。</p> <p>イ 色覚に異常のある市民に対して、公共施設等のサインやハザードマップなどにどのような配慮がされているか。</p> <p>.....</p> <p>(2) 読書バリアフリーについて、どのような取り組みがなされているか。</p> <p>(3) 小中学校における児童生徒の視力低下への取り組み状況はどうか。</p> <p>ア 児童生徒の視力の現状をどのように捉えているか。</p> <p>イ 児童生徒の視力が年々低下する傾向にあるが、この原因をどのように捉えているか、また、現状においてどのような指導や対策に取り組まれているか。</p> <p>ウ デジタル教科書、プログラミング学習など、IT機器を使用した授業が導入されるが、導入による児童生徒の視力への影響はないか。</p> <p>エ 小中学校において、視力に障がいのある児童生徒の状況と教育環境の状況はどうか。</p>				市長
2	<p><b>子どもの食育への取り組み状況はどうか。</b></p> <p>子どもの食育はこれまで数々の取り組みがなされているが、朝食を摂らない児童生徒の教育への影響はどうか。</p> <p>(1) 児童生徒の朝食の摂取状況はどうか。</p> <p>(2) 朝食を食べる食習慣の必要性をどのように捉え、どのような指導や対策を行っているか。</p>				教育長

質問順序	5	議席番号	2	質問者	村井 勝彦	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
3	<b>女性の視点による防災対策の取り組みはどうか。</b> 防災対応の基本となる各種防災計画の策定や避難所の運営など、女性の視点から見た防災対応が必要ではないか。  (1) 現状の各種防災計画策定時において、女性の視点からの意見や提案などをどのように反映されているか。  (2) 今後、ますます女性の視点からの防災対応が必要となると考えるが、防災担当部署に女性幹部職員を登用する考えは。				市長	

質問順序	6	議席番号	6	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	<b>新型コロナウイルス感染症COVID-19への対応</b> 令和2年2月21日に示された新型コロナウイルス感染予防対策の基本方針や袋井市としての感染予防策等についての考えを問う。  (1) 貸館業務を行っている公共施設の運営についての方針を伺う。  (2) 市内や近隣市町で感染者が出た場合の対策として、情報公開について市としての考えを伺う。  (3) 新型コロナウイルス感染症に係る医療法上の臨時的な取扱いについての市の考えを伺う。 ..... (4) 学校関係者内に発症者が確認された場合の対応策について伺う。				市長        教育長
2	<b>喫煙について</b> 袋井市は、「（仮称）袋井市たばこによる健康被害から市民を守る条例」の制定に向けて取り組んでいるが、今後の進め方や袋井市の喫煙に対する考え方を問う。  (1) 条例の名称に受動喫煙の記載がないが、市として受動喫煙への考えについて伺う。  (2) 検討委員会にて条例について協議していただいていると聞いているが、委員構成や会議録等の公開への考えについて伺う。  (3) 今後の意見聴取方法について伺う。  (4) 関連事業者への説明等、今後の進め方について伺う。  (5) 喫煙者ゼロのまちの示す袋井市のイメージについて伺う。				市長
3	<b>LINEを活用した公共サービスについて</b>  (1) 地方公共団体向けプランの活用と導入への考えはあるか伺う。				市長

質問順序	7	議席番号	11	質問者	近藤 正美	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<b>高齢者の雇用促進について</b> 国では70歳までの就業機会を確保するための雇用関連法案が閣議決定された。法案は複数の働き方を示し、企業に導入を求めている。選択肢の拡大は歓迎されるが、高齢期就労の環境整備のあり方によりその実効性が問われる。  (1) 企業の取り組みが進むよう助成制度などでの支援策はどうか。  (2) 「70歳定年法」と本市の高齢者就労促進事業（3 Days Worker's Office 構想）との関連はどうか。  (3) これまでの生涯現役促進地域連携事業でのタスカルネットワークによる運用成果はどのようなものか。				市長	
2	<b>大規模広域災害への対応について</b> 近年の気候変動による豪雨や大型台風による災害は、気象庁によれば地球温暖化による気温の上昇と水蒸気量の増加が影響しているという。激甚化する気象災害に今後どう備えるか。また、予想される南海トラフ地震への対応も急がれる。今改めて市の防災対策が問われている。  (1) 昨年の台風19号により浸水被害がもたらされた袋井駅南地区の治水対策、および小規模河川の整備は現在どのような状況にあるか。  (2) 風水害対策への中長期の策定を市はどのように考えているか。  (3) 大規模災害を想定した県や近隣市町との連携は怎么样了になっているか。				市長	
3	<b>地域活動への支援について</b> 人口減少、高齢化社会への進展に備え、市民が求めるニーズや地域課題の多様化への対応のためには、コミュニティセンターを拠点とした地域づくりが不可欠である。行政の積極的支援により地域や市民が主役となる、特色と魅力あるまちづくりに効果が期待できる。  (1) 公民館からコミュニティセンターへの移行をどう評価しているか。  (2) モデル地区のICTコミュニティ情報発信検証事業による成果はどうか。  (3) 令和2年度モデル事業となる浅羽・笠原地区による「地域の助け合い活動（生活支援活動）」をどのように支援するか。				市長	

質問順序	8	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>待機児童問題について</b> 今年度県下ワーストワンの待機児童を出した袋井市が、来年度も若干であれ待機児童を出すことは、子育て支援に関わる本市の姿勢が問われる。  (1) 待機児童の定義、捉え方を当局はどのように認識しているか。  (2) 子どもを預かってもらえなかった保護者と、国の待機児童の捉え方が違う。この違いをどう考えるか。  (3) 今年4月1日時点の予想待機児童数の見通しは。  (4) 昨年9月2日から10月4日までの保育所入所申し込み受け付けの結果を、年齢ごとに教えてもらいたい。その時点での入所希望総数と、令和元年10月時点での受け入れ可能数（定員）、あふれる総数を教えてほしい。  (5) 昨年11月議会、村松議員そして私への答弁で、0～2歳児の入所希望者907人、いろいろ努力して令和2年4月1日時点での定員899人と明らかになりました。この時点でも待機児童が心配されるが、11月以降待機児童を完全にゼロにするためどのような取り組みをしたのか。  (6) 市長・教育長は、令和2年度も待機児童が出ることへの責任を感じているか。  (7) 令和3年度は、完全ゼロになる見通しと具体的な取り組みを教えてください。  (8) 放課後児童クラブは、令和2年度待機児童がゼロになる見通しがあるのか。  (9) 完全ゼロになる見通しがない場合、何故そうなったのか、具体的な理由を明らかにしてほしい。				教育長
<b>2</b>	<b>土橋地区の水田の埋め立てについて</b> 袋井市中部豪雨災害対策アクションプランで、保水地域の保全すべき箇所になっている土橋地区の水田を埋め立てることの是非についてであるが、今後も豪雨災害が予想されるが、平坦な地形の袋井市においては水田で水を受ける必要がある。蟹田川流域豪雨災害対策アクションプランでは、かなりの水田が保水地域に指定され保全を図るものとされている。				市長

質問順序	8	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	<p>(1) 土橋工業用地造成計画では周りよりも高い埋め立て計画が示され、土橋地区の住民の中には雨水が道路や住宅地にあふれることを心配する人が出ている。住民の心配を当局はどう考えているのか。</p> <p>(2) 今回の造成により、蟹田川下流の木原地区へ大雨時の影響はないのか。</p> <p>(3) アクションプランと工業用地造成は矛盾すると思わないのか。</p>				市長
3	<p><b>報道機関への情報提供について</b></p> <p>袋井市内各種イベントをいかに報道機関に伝え、取り上げてもらう方法について、シティプロモーションの担当者が努力しているのを理解しているが、全庁舎的に（市役所以外の機関も含めて）マスコミを通して袋井を宣伝する情熱が弱い気がする。</p> <p>(1) 各課が行うイベント情報をシティプロモーションの担当者に送り、そこから報道機関に情報発信すると以前伺ったが、そのシステムが有効に機能しているのか。</p> <p>(2) 市役所以外の機関、例えば、社会福祉協議会や観光協会、国際交流協会、スポーツ協会、学校・保育園・幼稚園、コミュニティセンターなどが実施するイベントも、希望があればシティプロモーションに情報を一元的に集め、そこから報道機関に流すシステムがあればよいと考えるが、当局の考えを問う。</p>				市長

質問順序	9	議席番号	3	質問者	佐野 武次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>コミュニティセンターの収益事業</b> 公民館からコミュニティセンターへの移行に伴う当初の説明では、「生涯学習の拠点」から「地域づくり・まちづくりの拠点」として、より自由度が広がり使いやすくなることや収益事業もできるようになるとの説明があった。  (1) コミュニティセンター化から、おおむね2年を迎えるが、市内14箇所のコミュニティセンターにおいて、収益事業を始められた事例はあったか。また、そのような事例があれば、どのような事業か、その内容について伺う。  (2) 島根県雲南市では、市の水道局と委託契約を結び、検針業務を地区が受託し、高齢者の見守りや防犯対策と雇用の創出にもつなげている。本市でも市の業務を調査し、委託が可能な業務をコミュニティセンターに紹介し、業務展開していくことを提案するが、そうした考えはあるか伺う。				市長
<b>2</b>	<b>自治会活動の課題への対応</b> 高齢化や核家族化に伴う世帯員の減少などにより、役員の担い手不足の深刻化や、地域行事への住民の参加や協力を求めることが負担になるなど、自治会などが主催する事業を継続していくことが難しくなっている。また、自治会長は、働きながら、さまざまな仕事をこなさなければならず、その役割を担っていくことが難しくなっており、人選に大変苦慮している。 これまでのように、自治会の仕組みを維持・継続していくには、例えば、業務を分担し負担軽減していくことや自治会活動の内容を見直すことなどの意識改革の推進。さらには、社会においても、自治会長の職務を理解し、協力していくことなどの環境づくりも必要ではないかと考える。市としては、現状を踏まえ、今後、どのように自治会を維持し、運営していく方針であるか伺う。				市長
<b>3</b>	<b>学校図書室の改革</b> 広島県教育長の平川理恵さんが、校長として赴任した最初の中学校において行った「学校図書室の改革」を拝見した。改装後は、1日あたり20名だった利用者数が150人を超え、学校一番の人気スポットとなった。加えて、知の入り口として図書室を改革することによって、子どもたちの知力の扉が大きく開かれ、その結果、読書から読解力へとつながり、学力が高まる良い循環も生まれた。 本市の教育大綱は「心豊かな人づくり」を基本理念とし、知・徳・体のバランスのとれた学校教育と、生涯にわたる学習活動の推進を目指している。豊かな人間性を育てていくためにも、学校図書室の改革を提案するが、どのように考えるか伺う。				教育長

質問順序	10	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>気象危機の今、地球温暖化対策に本格的に取り組もう</b> 温室効果ガスの抑制をはじめ、地球温暖化への対策は、世界的な喫緊の課題となっている。市としての積極的な取り組みを求める。  (1) 市としての野心的目標…「排出量実質ゼロ宣言」「自然エネルギー100%自治体宣言」「気象非常事態宣言」等…を表明しよう。  (2) 市の基本的取り組みは。  (3) 徹底したエネルギーの地産地消を。  (4) まちづくり・地域づくりとして、市も関与した地域の新電力会社を。				市長
<b>2</b>	<b>いじめをなくす取り組みについて</b> いじめ防止の取り組みは、重要性が強調され、対策に取り組まれているが、いじめでの不幸な事態も後が立たない。本市のいじめの状況を尋ねるとともに、その対策の基本点を伺う。  (1) 本市の平成30年度のいじめ等の状況および令和元年度の状況はどうか。また、傾向と対策・課題をどう考えているか。  (2) 具体例で、基本的ないじめ対応について尋ねる。  ア いじめの早期発見  イ 組織的な対応  ウ いじめ被害者の立場に立った対応  エ 保護者への対応と援助  オ いじめ加害者への指導  カ 学校・家庭・地域との連携  キ 学級をはじめ、全ての児童への指導				教育長

質問順序	11	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>袋井駅南地区治水対策について</b> (1) 市は、新たに組織体制の強化として「建設課河川係」を「治水対策室」として対策の推進をし、水害対策の強化を図ることとした。このことに関しての市長の思いを問う。  (2) 国の令和元年度補正予算で台風15号および19号を受けた治水対策に2,437億円がついた。これを受け、市としての対応はどのようなものか。  (3) 袋井市防災会議が新たに策定する「地域防災計画（仮称）風水害編」は、高南地区地元説明会で示された治水目標に影響はあるか。  (4) 自助、共助、公助と言われる。自助に対する支援はどのようなものか。				市長
<b>2</b>	<b>公共施設利活用の現状と今後の見通しについて</b> (1) 一般市民のスポーツによる健康増進のため、一部利用されている公共施設もある。全ての公共施設で利活用すべきではないかと考えるが見解を問う。  (2) 今までの低利益性のスタンスでは、市民サービスが低下し、利用者数の減少を招き、維持管理のため利用料金のみを上げていく方式では、さらに利用者数の減少を招く。対策すべきではないか。  (3) ICTを活用して公共施設に関連する情報を一元管理するプラットフォームを構築し、公共施設の利用率・満足度を向上すべきではないか。 ..... (4) 小学校教員の科目の増加や働き方改革により、子供たちの課外活動を縮小している。どのように公共施設を利用して活動を継続していくか方を問う。				市長      ..... 教育長

質問順序	12	議席番号	7	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>農業振興ビジョンの策定</b> 袋井市農業振興ビジョンの前期基本計画の5年間で令和2年度に終了する。令和7年度までの後期基本計画を策定することになる。このことに関連して、認定農業者制度、就農支援の取り組みについて伺う。  (1) 認定農業者制度について  ア 袋井市の認定農業者の動向は。  イ 認定農業者に対して、袋井市独自の支援措置はあるのか。  ウ 制度の運用上の課題をどう捉えているか。  エ 認定農業者が複数市町で農業を営んでいる場合の認定手続きの簡素化はできないのか。  (2) 就農支援の取り組みについて  ア 農業次世代人材投資事業と農の雇用事業の活用実績を伺う。  イ 新規就農支援緊急対策事業の取り組みについて、市の考えは。  ウ 地域の新規就農サポート支援事業について、市の考えは。				市長
<b>2</b>	<b>スマート農業普及</b> 国が進めるスマート農業に対する生産現場の課題が報道された。  (1) 袋井市で展開されているスマート農業の現状は。  (2) スマート農業の普及に必要な取り組みをどのように考えているか。  (3) スマート農業を展開する上で、ベテラン農業者のノウハウを継承するシステムを作るべきと考えるがいかがか。				市長
<b>3</b>	<b>緑茶の消費拡大</b> 緑茶を飲むほど、介護予防に効果、死亡率も低下と県内市町約1万人追跡調査の記事が新聞に掲載された。県は調査結果を積極的にアピールし、県民の健康づくりや、茶の消費拡大に活かしていくとしている。袋井市においても、この調査結果を緑茶の消費拡大の起爆剤にすべきと考えるがいかがか。				市長

質問順序	13	議席番号	1	質問者	森杉 典子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<b>子どもの防災教育について</b> 自然災害が激甚化・頻発化する中で、防災教育の必要性が高まっている。さらに、4月から小学校で実施される新学習指導要領では「防災・安全教育」の充実が図られ、子どもの発達段階に応じた目標も示されました。  (1) 4月より開署の「袋井消防庁舎・袋井市防災センター」での、子どもへの防災研修会を考えられているか伺う。 ..... (2) 子どもの発達段階に応じた防災ハンドブックの導入の本市の考えを伺う。  (3) 防災教育に関する新学習指導要領の概要と、本市が予定している小学校での防災教育の取り組みを伺う。				市長     ..... 教育長
2	<b>小中学校の教員の確保について</b> 文部科学省では、学力向上を目的とした学校教育活動を支援する人材の配置の拡充を進めています。しかし、少子高齢化で教員のなり手不足が心配されています。  (1) 本市の教員確保の状況を伺う。  (2) 本市の小中学校の教員が不足した場合の対応を伺う。				教育長
3	<b>自転車を活かしたまちづくりについて</b> 本市で進めている「自転車を活かしたまちづくり」は、全国でも先進の取り組みです。さらに、公共交通機関の減少に伴う対策や、観光資源として活用の推進が望まれています。  (1) 電動アシスト付き自転車の購入補助の拡充の考えを伺う。  (2) 自転車走行空間の利用状況と効果を伺う。  (3) 新たなモビリティサービス「M a a S」導入の本市の考えを伺う。				市長
4	<b>認知症高齢者等事前登録者の事故時の救済について</b>  認知症高齢者等事前登録の方が、外出時に事故を起こした際の保険等の救済制度導入の本市の考えを伺う。				市長

質問順序	14	議席番号	10	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>小中学校の学力向上対策と体力向上対策</b> 令和元年度全国学力・学習状況調査の結果、全国平均正答率を100とすると、小学校では平均に届かず、中学校は平均を超えることができました。今後の学力向上対策と、また、2019年度全国体力テストの結果と対策についてお伺いします。  (1) 学力向上対策の推進  ア 漢字検定（小3～小5全員）、算数検定（小3～小5全員）を実施しているが、その結果と対策について問う。  イ 袋井版学力調査（小5・中2）を実施しているが、課題を把握し、PDC Aサイクルで改善を図り、全国学力・学習状況調査につなげる時間が十分取れるか心配ですが、具体策を問う。  ウ 小中共通「家庭学習のすすめ」の配布について、家庭学習の充実が目的だが、その活用の仕方を問う。  エ ICTを効果的に活用した協働学習や個別最適化された効率的な学習を推進するにあたって、健康面を考慮し、どのくらいの時間、また、どのような場合で活用するか問う。  (2) 小学5年と中学2年を対象に実施した2019年度全国体力テストの結果と対策  ア 本市の結果を問う。  イ スポーツ庁は要因として、スマートフォンの普及などに伴い、子どもたちの運動時間が減少していると挙げているが、本市の要因は。  ウ 「日本一健康文化都市」として体力テストは、常に合計点平均を上回るようにするために、今後の対策はどのように考えているか問う。				教育長
<b>2</b>	<b>働き方改革で介護休暇と男性育休を取りやすく</b>  (1) 本市の介護休暇と男性育児休業の取得状況について伺う。  (2) 男性職員の育児休業取得率を高める環境作りはどのように考えていますか。				市長

質問順序	14	議席番号	10	質問者	山田 貴子	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
2	<p>(3) 介護休暇は1時間単位で取得できるようだが、その環境作りはどのように考えていますか。</p> <p>(4) テレワークの導入により働き方改革が進み、短時間の介護休暇や育児に係る部分休業を取りやすくなると思うが、導入時期と導入方法や課題解決に向けての考えを伺う。</p>				市長	
3	<p><b>性的少数者（LGBT）の暮らしやすい社会づくり</b></p> <p>(1) 本市の性的少数者を把握していますか。</p> <p>(2) 生活面の課題を把握していますか。</p> <p>(3) 浜松市では、パートナーシップ宣誓制度を設けましたが、本市の考えを伺う。</p>				市長	
4	<p><b>高齢者への虐待</b></p> <p>(1) 高齢者施設の虐待の把握はしていますか。</p> <p>(2) 介護職員による高齢者への虐待防止策について、どのように指導していますか。</p> <p>(3) 家族や親族らによる虐待は、どのように把握していますか。</p>				市長	
5	<p><b>主要道路整備について問う</b></p> <p>(1) 都市計画道路川井山梨線の整備の進捗を伺う。</p>				市長	